

第4回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

会議名称	第4回米沢市農政審議会
開催日時	令和7年2月6日(木) 午後2時30分から午後3時00分まで
開催場所	米沢市役所 303会議室
出席者	<p>会長 大和田 浩子 (山形県立米沢栄養大学 健康栄養学部長)</p> <p>副会長 小関 善隆 (米沢市農業委員会 会長)</p> <p>委員 鈴木 巖 (山形県農業共済組合 理事)</p> <p>委員 佐藤 政和 (米沢市認定農業者会議 会長)</p> <p>委員 石塚 久子 (米沢市消費生活研究会 会長)</p> <p>委員 我妻 拓也 (青年農業士)</p> <p>委員 佐藤 修一 (米沢青果株式会社 代表取締役社長)</p> <p>委員 齋藤 義浩 (置賜総合支庁産業経済部 農業振興課長)</p>
欠席者	<p>委員 二宮 啓一 (米沢平野土地改良区 理事)</p> <p>委員 大竹 茂 (山形おきたま農業協同組合 米沢地区総括理事)</p> <p>委員 安部 憲一 (米沢市農業振興組合長会 会長)</p> <p>委員 加藤 英樹 (米沢商工会議所 会頭)</p> <p>委員 山下 亨 (置賜総合支庁産業経済部 農業技術普及課長)</p>
事務局出席者	産業部長、農政課長、農政課長補佐、農政課米沢牛振興室長兼畜産主査、農政課農政主査、農政課農産主査、農政課主任(農政担当)、農政課主任(農政担当)
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 第2次米沢市農業振興計画(案)のパブリック・コメントの結果及び修正内容について</p> <p>(2) 答申について</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>
会議資料	次第、米沢市農政審議会設置条例、第4回米沢市農政審議会席次表、米沢市農政審議会委員名簿、第2次米沢市農業振興計画(案)に係るパブリック・コメントの結果、第2次米沢市農業振興計画(案)に係る修正案の新旧対照表、第2次米沢市農業振興計画(案)、第2次米沢市農業振興計画(案)〈概要版〉
会議内容	
<p>【1、2、4】省略</p> <p>【3 協議】</p> <p>(1) 第2次米沢市農業振興計画(案)のパブリック・コメントの結果及び修正内容について 資料「第2次米沢市農業振興計画(案)に係るパブリック・コメントの結果」、「修正案の新旧対照表」に基づき、次のとおり事務局から説明。 ・パブリック・コメントを受けての計画内容の修正なし。 ・議会からの意見を受け、計画内容を一部修正。 ・事務局内で内容を再度協議し、計画内容を一部追記 ⇒意見・質問なし。</p> <p>(2) 答申について 協議事項(1)で説明した修正内容で、第4回農政審議会終後に、市長へ答申を行いたい旨事務局から説明。 ⇒意見・質問なし。 ⇒修正案を答申の成案として市長に答申することに異議なし。</p>	

第4回米沢市農政審議会会議録【要点筆記】

(3) その他

⇒計画に関するその他の意見等なし。

⇒最後に農政全般に関する意見交換を実施。 **※以下、意見交換で出された意見など**

- ・2月1日におうちで牛肉まつりがあり、中を開いてみたときの消費者としての意見であるが、中をひらいたときに高級な牛肉が上についており、細かくなっている牛肉が下の方に入っていた。チラシにもその旨は記載されていたが、細かい肉を覆い隠して隠すように入っていた。消費者としては、知った上で購入しているので、横に並べて入れればよかつたのではないかと思う。
- ⇒良いものから細かいものまで4人分で1キロ、肉のパック詰めを以前は職員もしていたが、衛生上の問題から現在は全て肉屋さんにおまかせし、見栄えよくパック詰めしてもらっていた。いただいた意見を参考に改良していけるかどうかという部分は実行委員会で協議していきたい。
- ・米の値段がとんでもなく高くなっている。その内容について消費者の方にも知ってもらう必要があるのではないかと生産者の中でも考えている人がいる。投機目的で買っている業者もあり、備蓄米を放出するという話だけで値段が下がったりもしている。生産者からも情報を提供する必要があるし、消費者も本質を知る場面を作っていたきたい。お互いの立場で話し合いができればよいと考えている。
- ・個人としては、米は今の価格でちょうどいいと思っている。前が安かつたと思う。
- ・30年くらい前は、米は今よりも高い値段だった。今ようやくそれに近づいている。現在出回っている米についても、我々が規格外として出す米が10キロ6,000円くらいで売られているところもある。実際にそれを買う消費者もいるのわけで、そういう情報が消費者に知られていないので、(生産者と消費者が)交流しながらお互いをわかっていけるようになったらよいと思う。
- ・国が実行する政策は真逆のことをしている。自給率を上げろといいながら、農家や農地を減らす政策をとっている。米沢市の農業振興計画では、実現できるような政策を真剣に考えてやってほしいと思っている。
- ⇒計画は漠然とした中身で記載しているので、なかなか見えにくいところがある。前回のように、前期5年、後期5年何に力をいれていくのか、重点取組事項のような内容を考えて取り組んでいきたい。「売上だけが上がって、(農業産出額が)85億円というのはどうなのかな」、「農業所得も向上していかなければだめであろう。」という話が議会からも出ている。
- ・計画倒れにならないように農政がどのように転換されていくのか、高齢化がどんどん進んでいく中で、笑顔で元気で農業をやっていけるようにしてほしい。実質所得をあげ、消費者の方も納得していただけるような社会になってほしいという願いを込めて今後も努力していきたい。
- ・若い担い手という立場から言わせてもらおうと、若い担い手は、まだまだ経営が成り立っていないという部分がすごくある。儲かる農業を実現させるためには、農業経営を育成することが大事ではないか。市だったり、普及課だったり一丸となって経営の育成をしてほしい。稼げる農業を目指している。
- ・農協の方で1年前から新聞広告を出している。農家の皆さんがコントロールできないところで野菜等の値段がついているが、なぜ安い値段になっているか、消費者の皆さんに理解できるように広告を出している。変わってきたと感じた。きゅうりの部会や寒中野菜を作っているが、部会を作って勉強しながらやっており、一定の効果がでていっている。もっと組織を作っていきたいと考えているが、少子化・高齢化がすすんでおりなかなか難しい。大変な部分は多いが、変わってきている部分もあるため、流れに沿って頑張っていければと思っている。
- ・県では元気創造戦略、置賜では振興指針を定めているところで、目指す方向は同じだと思うので計画を実現できるように県も市と一緒にがんばっていきたい。